

平成23年度

かほく市教育委員会
点検及び評価報告書

平成24年9月

かほく市教育委員会

はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第27条の規定に基づき、平成23年度のかほく市教育委員会の活動を振り返るとともに、教育委員会が毎年示す「かほく市の教育」の重点目標を達成するための具体的施策について、自ら事務事業の点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する方々からの意見もいただいて作成したものです。

かほく市教育委員会は、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、創造力と生きがいを育む教育の推進に努力してまいります。

平成24年9月

かほく市教育委員会

かほく市の教育（平成23年度）

教育方針

海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまちを愛し、心豊かで創造性に富む人づくりを目指すため、家庭・学校・地域がそれぞれの役割を担い、かつ連携を深め、創造力と生きがいを育む教育を推進する。

学校教育目標

将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指す。

○ 重点事項

- ・ 基礎基本の定着と活用力の向上
- ・ 道徳教育と人権教育の推進
- ・ 健康、体力向上を育む教育の充実
- ・ 開かれた学校と特色ある学校経営の推進
- ・ 教職員の研修の充実と資質の向上
- ・ 就学環境の向上による学校教育の推進

生涯教育目標

「かほく市生涯学習推進計画」に基づき、社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指す。

○ 重点事項

- ・ 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進
- ・ 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化
- ・ 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進
- ・ 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進
- ・ 国際社会に対応するための国際理解教育の推進
- ・ 生きがいづくりに向けた文化活動の推進
- ・ 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

スポーツ振興目標

「かほく市スポーツ振興計画」に基づき、市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指す。

○ 重点事項

- ・ 生涯スポーツ活動の推進
- ・ 児童生徒の体力・運動能力の向上
- ・ 競技スポーツの充実・強化
- ・ スポーツ施設の整備・充実

目 次

I 教育委員会の活動状況	1
(1) 教育委員会会議の開催状況	1
(2) 教育委員会会議の審議状況	1
(3) 教育委員の主な活動状況	3

II 点検及び評価	4
-----------	---

施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい児童生徒の育成を目指して【学校教育課・教育センター】

1 基礎基本の定着と活用力の向上	5
2 道徳教育と人権教育の推進	8
3 健康、体力向上を育む教育の充実	10
4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進	12
5 教職員の研修の充実と資質の向上	12
6 就学環境の向上による学校教育の推進	14

施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう生涯学習社会の実現を目指して【生涯学習課】

1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進	17
2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化	18
3 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進	20
4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進	23
5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進	24
6 生きがいづくりに向けた文化活動の推進	25
7 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進	27

施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して【生涯学習課】

1 生涯スポーツ活動の推進	30
2 児童生徒の体力・運動能力の向上	32
3 競技スポーツの充実・強化	32
4 スポーツ施設の整備・充実	35

資料	37
----	----

注意：本文中の書体変化部は、平成23年度において、新規事業又は拡充した事業を表しています。

I 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催し、平成23年度は12回開催しました。

① 教育委員会定例会・・・12回

(2) 教育委員会会議の審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第23条に定める職務について、同法第26条及び「かほく市教育委員会事務委任規則」の規定に基づき、平成23年度は32件について審議しました。

◎平成23年度教育委員会会議開催状況

回（開催日）	審議決定事項
平成23年第4回 (平成23年4月28日)	議案第14号 かほく市教育委員会委員長の選挙について 議案第15号 かほく市教育委員会委員長職務代理者の指定について
	報告事項 ・ 平成22年度かほく市立中学校英語検定結果について ・ 平成22年度かほく市立中学校高校進学先一覧について
平成23年第5回 (平成23年5月30日)	議案第16号 平成23年度準要保護児童生徒の認定について
	報告事項 ・ 平成23年度かほく市奨学生選考結果について ・ 平成23年度第1回かほく市社会教育委員会議結果報告について
平成23年第6回 (平成23年6月27日)	議案第17号 平成23年度準要保護児童生徒の追加認定について
	報告事項 ・ 平成23年度6月補正予算について ・ 平成23年度加賀地区中学校体育大会の結果について
平成23年第7回 (平成23年7月27日)	議案第18号 平成23年度準要保護児童生徒の追加認定について
	議案第19号 平成24年度使用中学校教科用図書採択について
	報告事項 ・ 平成23年度石川県中学校総合体育大会の結果について ・ 平成23年度県基礎学力調査の結果について ・ 平成23年度第2回かほく市社会教育委員会議結果報告について
平成23年第8回 (平成23年8月24日)	報告事項 ・ 第32回北信越中学校総合競技大会成績一覧について ・ 第63回石川県民体育大会の結果報告について ・ 学校給食に使用する食材について
	議案第20号 平成23年度準要保護児童生徒の追加認定について
	議案第21号 平成23年度かほく市教育委員会表彰被表彰者の決定について
平成23年第9回 (平成23年9月30日)	議案第22号 かほく市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する規則について
	報告事項 ・ 平成23年度河北郡市中学校新人体育大会の結果について ・ 第8回かほく市生涯学習フェスティバルについて ・ 平成23年度姉妹都市交流事業（青少年受入）日時等について ・ 平成23年度第3回かほく市社会教育委員会議結果報告について

回（開催日）	審議決定事項
平成23年第10回 (平成23年10月26日)	議案第23号 平成23年度準要保護児童生徒の追加認定について 議案第24号 平成22年度かほく市教育委員会点検及び評価報告書について
平成23年第11回 (平成23年11月29日)	議案第25号 平成23年度準要保護児童生徒の追加認定について
平成23年第12回 (平成23年12月21日)	議案第26号 かほく市生涯学習センター条例施行規則等の一部を改正する等の規則について 議案第27号 かほく市教育委員会文書取扱規程の一部を改正する規程について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度指導主事訪問を終えて 平成23年度学力調査について 平成23年度かほく市就学指導委員会の結果について 学校給食に使用する食材について
平成24年第1回 (平成24年1月26日)	議案第1号 かほく市教育委員会が所管する公の施設指定管理者選定審議会委員の委嘱について 議案第2号 かほく市教育委員会が所管する公の施設指定管理者の選定について（答申）
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 第8回かほく市成人式参加状況について 第8回かほく市立志式について
平成24年第2回 (平成24年2月22日)	議案第3号 平成23年度3月補正予算案について 議案第4号 平成24年度当初予算案について 議案第5号 「かほく市民読書の日」制定に関する要綱について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度第2回就学指導委員会の結果について 平成23年度第4回社会教育委員会議結果について 平成23年度第5回社会教育委員会議結果について 「かほく市民読書の日」優秀ポスターの選考結果について
平成24年第3回 (平成24年3月27日)	議案第6号 平成24年度かほく市教育方針について 議案第7号 学校医・学校歯科医・学校薬剤師の委嘱について 議案第8号 かほく市就学指導委員会委員の委嘱について 議案第9号 かほく市奨学生選考委員会委員の委嘱について 議案第10号 かほく市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について 議案第11号 かほく市社会教育委員の委嘱について 議案第12号 かほく市公民館長の委嘱について 議案第13号 石川県西田幾多郎記念哲学館運営委員会委員の委嘱について
	議案第14号 かほく市少年愛護センター運営委員会の任命について 議案第15号 かほく市少年愛護センター少年愛護員の委嘱について 議案第16号 かほく市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第17号 かほく市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第18号 かほく市文化財保護審議会委員の任命について
	報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 平成23年度第6回社会教育委員会議結果について 平成24年度かほく市教育委員会嘱託職員の新規採用について 平成24年度主要事業計画（案）について

(3) 教育委員の主な活動状況

◎教育委員が出席した主な活動等

年月日	活動内容
平成23年 4月 5日	平成23年度初任、新任教職員辞令交付式
平成23年 4月 6日	平成23年度かほく市立小中学校入学式
平成23年 5月 9日	平成23年度河北郡市教育委員会連合会定期総会
平成23年 5月10日	平成23年度石川縣市町教育委員会連合会定期総会
平成23年 6月 5日	第8回かほく市総合体育大会開会式
平成23年 6月 9日	第67回寸心忌・献花式
平成23年 6月27日	前期学校訪問(宇ノ気小学校、高松小学校、高松中学校)
平成23年 7月 4日	前期学校訪問(外日角小学校、七塚小学校、宇ノ気中学校)
平成23年 7月 5日	前期学校訪問(金津小学校、大海小学校、河北台中学校)
平成23年 7月21日	第63回石川県民体育大会出場選手壮行会
平成23年 7月29日	石川縣市町教育委員会セミナー
平成23年 8月 6日	第63回石川県民体育大会(～7日)
平成23年 8月12日	第1回かほく市子ども議会
平成23年 8月28日	サンドヒルかほく市2011グラウンド・ゴルフ大会
平成23年 9月 5日	中学校運動会(河北台中学校、宇ノ気中学校)
平成23年 9月 6日	中学校運動会(高松中学校)
平成23年 9月10日	小学校運動会(高松小学校、七塚小学校、外日角小学校、宇ノ気小学校、金津小学校)
平成23年 9月24日	小学校運動会(大海小学校)
平成23年10月14日	平成23年度石川縣市町教育委員会連合会研究大会
平成23年10月29日	平成23年度かほく市教育委員会表彰式
平成24年 1月 8日	第8回かほく市成人式
平成24年 1月18日	平成23年度河北郡市教育委員会連合会研修会
平成24年 2月 1日	第8回かほく市立志式
平成24年 2月 3日	後期学校訪問(高松中学校、河北台中学校、宇ノ気中学校)
平成24年 2月17日	後期学校訪問(大海小学校、高松小学校、七塚小学校)
平成24年 2月22日	後期学校訪問(宇ノ気小学校、金津小学校、外日角小学校)
平成24年 3月 4日	第8回かほく市制施行記念継走大会
平成24年 3月 9日	平成23年度かほく市立中学校卒業式
平成24年 3月16日	平成23年度かほく市立小学校卒業式
平成24年 3月29日	平成23年度かほく市立小中学校教職員離任式

II 点検及び評価

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価の対象は、「かほく市の教育方針」に基づき平成23年度に実施した具体的な施策とします。

(2) 点検及び評価の方法

点検及び評価は、施策に基づく事業内容と実績を明らかにするとともに、成果と課題などを示しています。

また、点検及び評価にあたっては、教育に関し学識経験を有する方として、石川県立看護大学人間科学領域教授の武山雅志氏、かほく市教育長を経験された吉寄奨氏、かほく市教育委員を経験された宮前昭夫氏から様々な意見や助言を得ました。

(3) 主な意見等

- ・ 全般的に財政厳しいおり限られた予算の中、多岐にわたり事業に取り組んできており特に施設の統合、整備等により市民の皆様が安心、安全に利用しやすい環境作りに努力してきたことは大いに評価出来るものである。
- ・ 児童生徒の学力向上を目指して学校教育研究事業等の取り組みをしているところですが短期に結果がでるものでないと思われ長期的な展望にたち更なる努力を期待する。
- ・ 市の重点施策である滞在型の図書館の整備は、「市民の心に栄養を」という読書の習慣を育む上で大切なことである。親しみやすい図書館として、種々の取り組みに努めて欲しい。
- ・ 児童生徒の学力向上を目指した指定研究は一過性のものではなく指定期間が終わったあとも研究の成果が児童生徒はもちろん指導者にも残っていくものであってほしい。
- ・ 全国大会出場選手の数が一般・高校生とも顕著な伸びを示しており、各単位協会の日頃の育成の効果が現れている。今後とも市民の体力の向上を目指して力を注いでほしい。
- ・ 食物アレルギーのある児童生徒に対する配慮は保護者としては必要不可欠なもの。正確な実態把握とともに早急な対応がなされるべきである。
- ・ 学校支援ボランティアを十分に活用していくためには地域コーディネーターが欠かせない存在である。その方たちへの研修も含め益々充実させてもらいたい。

これらの意見なども踏まえて、今後の教育行政において創意工夫を図り、かほく市の教育を推進していきます。

施策1 将来のかほく市を担う心豊かでたくましい

児童生徒の育成を目指して

【学校教育課・教育センター】

1 基礎基本の定着と活用力の向上

主な 取組	<p>(1) 市学校教育研究事業 (600 千円)</p> <p>①校内研究を深め、学校教育の振興及び児童生徒の学力の向上を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none">・七塚小学校 (平成22～23年度：市指定) 研究主題 「自ら学ぶ子どもをめざして」 副 題 一見通しをもって課題解決し、学び合う力の育成— 発表期日 平成23年10月21日 (金)・外日角小学校 (平成23～24年度：市指定) 研究主題 「自ら考え、学び合う子どもをめざして」 <p>(2) 家庭や地域との連携による学び支援事業 (200 千円)</p> <p>①県の指定を受け、学校における学力・学習を支える基盤づくりの取組として、学校と家庭・地域が連携を図りながら、家庭学習の充実や基本的な生活習慣の向上などの推進を図る取組に対して支援するとともに、家庭に対して「いしかわ学びの指針12か条」の普及・啓発を行い、子どもたちの主体的な学習習慣の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none">・高松小学校・大海小学校・高松中学校 日時：平成23年10月15日 (土) 9：00～12：00 会場：石川県西田幾多郎記念哲学館・研究の紹介・講演：金沢大学准教授 加藤隆弘氏 演題：学びの力を高める学校・家庭・地域の連携 ～いしかわ学びの指針12か条について～ <p>(3) 学力調査の実施 (2,291 千円)</p> <p>①県の基礎学力調査として、小学校4年生 は小学校3年生までに学習した (国語、算数)、小学校6年生 は小学校5年生までに学習した (社会、理科)、中学校3年生は中学校2年生までに学習した (社会、理科、英語) その他に学習に対する意識や家庭学習、生活習慣などの状況等に関する内容について調査を実施した。</p> <p>その他に、国から提供された、学力調査表を用いて小学校6年生には、学校5年生までに学習した (国語、算数)、中学校3年生は中学校2年生までに学習した (国語、数学) を併せて実施した。</p>
----------	--

(4) 特別支援教育体制の推進 (12, 152 千円)

① 特別支援学級配置校において、特別な配慮が必要な児童生徒の必要性に応じて支援員を 8 人 (高松小学校 1 人、七塚小学校 1 人、外日角小学校 1 人、宇ノ気小学校 4 人、宇ノ気中学校 1 人) 配置し、学級活動に必要な支援を行った。

② 緊急雇用創出事業により通常学級における配慮が必要な児童に応じて学級補助員 11 人 (高松小学校 1 人、大海小学校 1 人、七塚小学校 1 人、外日角小学校 2 人、宇ノ気小学校 5 人、高松中学校 1 人) を配置し、学級活動に必要な支援を行った。

③ 生徒の悩み事の相談を受けるため、心の教室相談員 3 人を週 3 回各中学校に配置し、相談者に適切な助言を行った (相談件数 867 件)。

④ 児童生徒の臨床心理に関する専門家であるスクールカウンセラーを 4 人 (高松小学校・高松中学校、外日角小学校・宇ノ気中学校、金津小学校・河北台中学校、宇ノ気小学校) 派遣し、相談者や関係者に対して問題解決への指導・助言を行った。

(5) 小学校英語活動及び中学校英語教育の充実 (14, 551 千円)

① 市内小中学校の英語活動及び英語授業を推進するため、外国青年招致事業による ALT (外国語指導助手) 3 人を配置した。

② 小学校英語活動研修会 (外部講師研修会) に英語活動コーディネーターの三浦邦子氏を講師として招いた。また、中学校区ごとに ALT と小学校教諭による授業を公開し、石川県教育センターの今井京氏に指導・助言をいただいた。

③ 中学校生徒の英語力の向上を目指すとともに、目標に向けての学習意欲の向上を推進するため、英検検定料を年 1 回に限り補助する中学校英語力向上事業を実施した。

受験者数

高松中学校 252 人、河北台中学校 429 人、宇ノ気中学校 452 人

合計 1, 133 人

(6) 学校版 ISO 推進事業 (800 千円)

① いしかわ学校版環境 ISO 認定を受け、全ての小中学校が環境行動計画に基づく地球温暖化防止に係る環境保全活動を実施した。

評価	<p>各事業の実施による基礎・基本の学力向上に加えて、活用力の向上の取組も推進することができた。学力調査などの結果をしっかりと受け止め、現状の学力実態の把握・分析を進め、「生きる力」の更なる向上を目指して、きめ細やかな教育の実施に努めていく。</p> <p>本年度の全国学力・学習状況調査は、東日本大震災の影響等により、調査の実施は見送りとなったが、国から提供された問題・質問紙、解答・回答用紙を使って石川県と連携して学力調査を実施し、児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況及び学習・生活状況について把握・分析し学校における児童生徒への教育指導の改善を図ることができた。併せて、教員の指導状況等を把握し、指導改善に役立てることができた。</p> <p>特別支援教育支援員及び学級補助員の配置は、児童生徒の安定した学校生活に必要不可欠であり、今後も各学校の実態に即した配置を行う必要がある。また、市就学指導委員会が当該児童生徒の現状を見極め、個に応じた指導・支援が図られている。</p> <p>「外国語活動」は、平成23年度から、小学校の新学習指導要領が全面実施されたことにより、第5・第6学年で必修化され、小中学校において、外国語指導助手の重要性が高まった。</p> <p>外国語活動においては、児童へ音声を中心に外国語に慣れ親しませる活動を通じて、異国の言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢・能力の素地を養うことを目標として様々な活動を推進するために一層の充実を図っていく。</p> <p>金津小学校においては、平成22年度から取り組んでいる地球温暖化防止に係る環境保全活動のいしかわ学校版環境ISOの活動がエコギフト大賞校優良事例報告校として表彰された。</p> <p>児童・生徒が環境に関心をもつことにより、家庭や地域へも広がりを見せるといった間接的な影響もあり、その教育効果・波及効果はかなり大きいと考えられる。</p> <p>学校での活動を通じ、環境保全活動の輪がさらなる広がりを見せていくことが期待される。</p>
----	---

2 道徳教育と人権教育の推進

主な取組	<p>(1) 共通道徳への取組</p> <p>① 小学校5年生、中学校2年生が郷土の偉人である西田幾多郎博士を取り上げ、石川県西田幾多郎記念哲学館を活用し、共通道徳授業を行った。</p> <p>② 平成21年度に市共通道徳推進委員会が作成した、実践事例集及び指導資料集を道徳の授業に活用するとともに、市内各小学校の5年生は「寸心読本」（西田幾多郎の伝記本）も道徳教育に活用した。</p> <p>(2) 学校図書館司書の配置（10,955千円）</p> <p>① 全小学校に学校図書館司書5人（うち1人は大海小学校と金津小学校を兼務）を配置し、年11回の図書館司書研修会で共通理解を図り、子どもたちの読書生活を豊かにするとともに、課題解決学習などの有効活用を促進した。</p> <p>また、図書館司書を週1回中学校へ派遣し、生徒の読書活動の支援を行った。</p> <p>(3) 芸術鑑賞推進事業（1,045千円）</p> <p>① 優れた舞台芸術を鑑賞することによる豊かな情操の涵養を図るため、オーケストラ・アンサンブル金沢のオーケストラ鑑賞を宇ノ気中学校で、劇団野ばらによる「あした あさって しあさって」のスクールシアター鑑賞を高松小学校及び大海小学校（低学年を対象）で、古典芸能鑑賞を宇ノ気小学校及び金津小学校（高学年を対象）でそれぞれ実施した。</p> <p>(4) 人権教育推進事業（400千円）</p> <p>① 次代を担う子どもたちの豊かな心を育み、人権意識を高めることを目的として、七尾東雲高等学校演劇科による朗読劇「セロ弾きのゴーシュ」と舞台劇「戦場のピクニック」、津軽三味線奏者永村幸治氏による「津軽三味線の演奏とお話～いじめを克服し、自分らしく生きる～」をそれぞれ外日角小学校で実施した。また、劇団すわらじ劇園による舞台劇「走れメロス」を河北台中学校で実施した。</p>
------	---

評価	<p> 道徳において、本市出身の哲学者である西田幾多郎博士を取り上げ、氏の生き方に学び、共感することにより児童生徒の道徳心を涵養することは、心の教育の一環として有効であり、今後も全ての小中学校の児童生徒を対象に共通道徳として継続して実施する。 </p> <p> また、共通道徳の実践によって将来の夢や希望を持つ児童生徒の割合が増加傾向にあることから、今後も実践的な道徳教育の実施を行っていく。 </p> <p> 子どもの読書活動を推進するためには、図書館司書の役割が重要であり、資料の収集や整理を行い、レファレンス活動を推進するとともに、市立図書館との連携、司書研修などの充実に努めた。小学校の図書の貸出冊数は、H22 貸出冊数 124,785 冊に対してH23 貸出冊数 155,899 冊と増加しており、子どもの意欲的な読書活動推進に寄与した。 </p> <p> なお、司書を定期的に中学校へ派遣することによって中学校の読書環境の向上も図ることができた。 </p> <p> 生きた本物の芸術鑑賞を行い、また、人権教育を推進することは、次代を担う子供たちの豊かな心を育み、思いやりの心を涵養することから、対象校を選定しつつ継続して実施する。 </p>
----	--

3 健康、体力向上を育む教育の充実

主な取組	<p>(1) 体力向上推進</p> <p>① 児童のスポーツに対する関心を高めることを目的として、県が推進するスポチャレいしかわに市内全小学校のうち97%の学級が各種目に挑戦した。</p> <p>② 体力アップ1校1プランにおいて、各小中学校が設定した目標に対する成果・課題を検証し、児童生徒の体力アップに取り組んだ。</p> <p>(2) 大会出場派遣事業 (9,463 千円)</p> <p>① 県大会、北陸信越大会、全国大会などに出場する中学校の部活動に対して交通費等を補助し、部活動の振興を図った。</p> <p>(3) 食育教育の推進</p> <p>① 児童生徒の食に関する知識と食を選択する力を育成するために、給食便りの発行や栄養教諭などによる食育教育の推進に加えて、児童生徒が稲作、かぼっくり、紋平柿などの農業体験を行うとともに、生産者との交流会なども実施した。</p> <p>(4) 学校給食事業 (296,375 千円)</p> <p>① 成長期にある児童生徒にバランスのとれた安全・安心な食事を提供 (3,358食/日) した。</p> <p>② 保護者を対象とした試食会の開催や地産地消への取組として地元産材の活用を行った。米飯給食は、かほく市瀬戸町、鉢伏産コシヒカリ1等米を提供した。さらに、パン給食に米粉パンを月1回提供した。</p> <p>③ 平成23年9月より第1学校給食センターは中学校専用調理場、第2学校給食センターは小学校専用調理場と調理区分を変更し、児童生徒の体格に合わせて献立の作成によりバランスのとれた給食の提供をした。</p> <p>④ 調理区分の変更により、飯椀・汁椀・パン皿・菜皿・箸を児童生徒の体格に合わせた規格の食器に更新した。また、配送距離が変更となり学校給食衛生管理基準で定めている調理後2時間以内の給食の実施のために第2学校給食センターに配送車を1台購入した。</p>
------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(5)教育相談事業 (116 千円)</p> <p>①不登校やいじめなどの電話相談、臨床心理士による教育相談を行った。 (来所34件、出張13件、電話51件 計98件)</p> <p>②教育支援センター「すまいる」は、通室生(15人)に対して、各学期当初の「登校チャレンジ週間」や毎月2回の「ステップアップ目標」を個別に対応しながら設定し、学校復帰への支援を強化してきた。</p> <p>(6)問題を抱える子ども等の自立支援事業 (307 千円)</p> <p>①臨床心理士の木場清子氏による保護者、教職員への指導助言を行った。</p> <p>②学生ボランティア等4人が相談室等を通じて不登校児童生徒の学級復帰を支援した。</p>
---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>全国体力・運動能力調査の結果の分析を進め、より効果的な体育授業や部活動指導を推進する必要がある。また、部活動の大会派遣補助事業の実施により保護者負担を軽減し、部活動の活性化を推進することができ、学校体育の振興を図ることができた。</p> <p>かほく市食育推進計画に基づき、他部局とも連携し、学校現場で様々な食育推進に資する事業を行うことができた。</p> <p>学校給食においては、食の安全に細心の注意を払いつつ地産地消の取組も推進することができた。</p> <p>今後も学校給食を通じて児童生徒の食に関する適切な判断力を涵養し、健康で豊かな人間を育む基礎となる取組を推進する必要がある。</p> <p>また、アレルギーのある児童生徒に対し十分な配慮を行うため、家庭と更なる連携をとっていく。</p> <p>教育支援センターの事業については、生活のリズムの再構築と学習支援が重点課題であり、各学期当初の「登校チャレンジ週間」の設定や毎月2回の「ステップアップ目標の設定」等で家庭や学校との連携強化を行い、不登校状況の改善を図ってきた。</p> <p>また、4月の7名から3月には15名に通室生が増加する中で、看護大等の学生支援ボランティアの導入や地域ボランティアの活用を図ることで支援体制の充実を図ることができた。</p>
---	---

4 開かれた学校と特色ある学校経営の推進

主な取組	<p>(1) 学校評価の実施</p> <p>① 各学校の目標達成状況や達成に向けた取組の適切さについて評価することにより学校として組織的・継続的に改善を行った。</p> <p>また、学校便りや学校評価の結果などをホームページにて掲載した。</p> <p>(2) 学校支援委員会の設置</p> <p>① 地域の有識者による学校支援委員会を全ての学校に設置し、学校運営に関して助言等を行うことによって学校を支援した。</p>
------	--

評価	<p>学校経営について、学校関係者による評価を受け、必要な改善を行うことは、より開かれた学校を推進する上で必要不可欠となる。</p> <p>また、学校支援委員会による様々な助言を学校運営に生かすことにより地域と学校の密接な連携を促進し、地域に根ざした学校の運営を促進することとなるので、引き続き強化し実施していく。</p> <p>なお、市教育委員会教育方針に基づく学校教育目標の達成を図るため、学校の短期経営目標の具体化を図り、評価時にその成果を検証する必要があることから、今後統一的に実施していく。</p>
----	--

5 教職員の研修の充実と資質の向上

主な取組	<p>(1) かほく市指定研究(※1 基礎基本の定着と活用力の向上(1) 市学校教育研究事業に含む)</p> <p>① 学校教育研究校を指定(七塚小学校、外日角小学校)し、学力向上につながる児童生徒への効果的な指導方法について研究を行い、教職員の共通理解を深めた。</p> <p>(2) 校内研修の充実</p> <p>① 県教育委員会との連携により実施し、教職員の資質向上を図った。</p> <p>(3) 指導主事学校訪問</p> <p>① 学校の指導方針に基づく実際の授業の進め方などについて、指導主事が直接学校に対し、指導・助言を行った。</p>
------	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(4) 市学校教育研究会 (830 千円)</p> <p>①教職員が教育課程研究部会などの 8 部会を組織し、学校教育のあり方などについて研究し、県外視察及び教職員研修会の実施により本市の学校教育の向上を推進した。</p> <p>(5) 市教育センターによる研修会 (160 千円)</p> <p>①教職員の質を高めることを目的とする教育講演会に名城大学准教授の曾山和彦氏を招聘した。</p> <p>その外、新任教職員研修 (1 回)、学力向上研修 (5 回)、教科指導講座 (1 回)、学校図書館司書研修会 (11 回)、特別支援教育支援員・学級補助員研修会 (3 回) などを実施した。</p>
---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>指定研究の実施で得られた成果を発表会などにおいて公開することにより他校の教職員との共通理解を深め、指導方法の向上に資することができた。また、習得した効果的な指導法を授業に生かすため、次年度もより充実した取組を継続して実施していく。</p> <p>指導主事訪問、学校教育研究会、教育センターによる研修会を通じて様々な課題に対する指導法を習得するなど教職員の資質の向上を図ることができた。</p> <p>また、学校教育研究会との連携を更に深め、先進地の事例なども積極的に収集し、効果的な研修を実施していく。</p>
---	--

6 就学環境の向上による学校教育の推進

主な取組	<p>(1) 要・準要保護児童生徒就学援助事業 (24,329 千円)</p> <p>経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒360人の保護者に対し、学校に係る費用の一部を援助した。また、その他に東日本大震災にて避難された世帯の児童生徒8人も対象として、学校に係る費用の一部を援助した。</p> <p>(2) 特別支援教育就学奨励費補助金 (685 千円)</p> <p>特別支援学級に就学する児童生徒18人の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育に資する費用の一部を助成した。</p> <p>(3) 幼児教育補助金 (19,683 千円)</p> <p>①保護者の負担軽減のため、所得に応じて幼稚園就園奨励金を171人に交付した。</p> <p>②幼児教育振興のため、市内私立幼稚園2園(木津幼稚園、うのけ幼稚園)に対し運営補助金を交付した。</p> <p>(4) 育英奨学補助金 (1,461 千円)</p> <p>経済的事情により就学が困難な高校生15人に対し、奨学資金(8,000円/月)を支給した。</p> <p>(5) 学校施設等整備事業</p> <p>①高松小学校整備事業 (1,795 千円)</p> <p>特別支援学級の開設に伴い、既存の普通教室を特別支援教室に改修した。</p> <p>②大海小学校整備事業 (10,883 千円)</p> <p>パソコン教室の機器の老朽化のため、機器及び学習ソフトを購入した。</p> <p>③七塚小学校整備事業 (3,654 千円)</p> <p>屋内運動場の屋根における防水部の劣化により底部のコンクリート片の剥離が生じているため、改修工事を行った。</p> <p>④外日角小学校整備事業 (5,847 千円)</p> <p>プール附属棟の老朽化が激しいため、内装部の改修工事、トイレ設備の洋式化等の改修工事を行った。</p> <p>新入学生の増加に対応するため、生活科教室を普通教室に改修した。</p> <p>⑤金津小学校整備事業 (8,096 千円)</p> <p>金津小学校の全児童が毎日使用するランチルームに空調設備を整備した。</p> <p>⑥高松中学校整備事業 (10,280 千円)</p> <p>各普通教室の前に生徒用ロッカー並びに屋外運動場に防球ネットを新設した。</p>
------	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(6)スクールバス運行事業 (16,506千円)</p> <p>①国土交通省所管社会資本整備総合整備交付金を活用し、小型バス1台(29人乗り)を購入し、合計5台のスクールバスを運行することより宇ノ気小学校、金津小学校、大海小学校の遠方児童を送迎した。</p> <p>②校外活動などの学校行事、各種大会などへの児童生徒の送迎にスクールバスを活用した。</p> <p>(7)生徒通学用安全着補助事業 (307千円)</p> <p>①通学時の安全を向上させるため、自転車通学を行う中学校生徒150人に対し、ヘルメットなどの購入費用の一部を補助した。</p> <p>(8)安全・安心のための取組</p> <p>①各小中学校において、登下校に関する児童生徒の安全確保のため、地域住民やPTAの協力による学校安全ボランティアなどの活動により登下校時の安全を確保した。</p> <p>②「いいメールかほく」内の学校情報メールを活用し、保護者に対して必要な学校情報を随時発信し、迅速な情報提供を行った。</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>経済的理由で就学が困難な児童生徒に対して必要な援助を行うことにより円滑な義務教育の実施を図ることができた。特別支援教育に係る補助も含めて安定した就学の保障を行うことは、教育の機会均等の精神に基づくものであることから、今後も継続して実施していく必要がある。</p> <p>幼児教育補助金交付の実施により幼児教育の普及充実に図ることができた。保護者のニーズに応じて保育園・幼稚園の選択ができる環境を今後も維持していくためにも必要となる。</p>
---	---

評価	<p>平成22年度から高等学校の授業料無償化が始まったが、市内には高等学校がないことから、必ず必要となる通学費に加え、学用品日等の負担もあることを考慮し、育英奨学補助金制度を継続したことによって有用な人材の高等学校などへの就学を支援することができた。</p> <p>また、受給者は受給の要件である学業成績の維持にも努めることとなり、修学の向上が図られた。</p> <p>学校施設整備については、安全・安心な学校づくりとして、老朽化により劣化が激しい七塚小学校屋内運動場の屋根改修工事や外日角小学校プール附属棟の改修工事により安全な学校整備を図るとともに、金津小学校のランチルームに空調設備の整備や高松中学校の普通教室に生徒用ロッカーを新設することにより、児童生徒の就学環境の向上することができた。</p> <p>また、必要となる改修や整備についても随時実施し、安全・安心な学校づくりができた。</p> <p>スクールバスの運行によって遠方から通学する児童の利便性が確保されているが、遠方の新興住宅地（学園台）から徒歩通学している児童に対して、現状の運行区域の見直しを行い次年度から実施する。</p> <p>地域住民による見守りを実施したことによって児童生徒の登下校時の安全・安心が図られた。</p> <p>ただし、不審者等はいつ出現してもおかしくない状況であることから、普段から緊張感を持って見守りを実施する必要がある、また、「いいメールかほく」を活用して多くの学校情報を提供しており、今後も積極的に情報発信を行っていく。</p>
----	---

**施策2 社会性を育み、個々が生きがいを持ち、共に学びあい支えあう
生涯学習社会の実現を目指して**

【生涯学習課】

1 家庭教育力の向上を図るための学習活動の推進

主な取組	<p>(1) 市民憲章推進本部事業（生涯学習推進事業の一部）</p> <p>①「早寝 早起き 朝ごはん運動」を展開した。</p> <p>(2) 親子ふれあい事業（生涯学習推進事業・文化財保護事業の一部）</p> <p>①親子歴史体験教室を開催した。</p> <p>②親子天体望遠鏡づくり教室を開催した。</p>
------	---

評価	<p>親子ふれあい事業としての親子体験教室や、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の展開など、親子で参加する事業や生活習慣の改善に関する取組を実施し、親子のコミュニケーションや絆を深め、「子どもの社会性を育む学びの場としての家庭」、「子どもの心の居場所としての家庭」の機能を高める事業を進めた。</p> <p>特に親子ふれあい事業の参加者（保護者）の声を聴く限り、当該事業が親子のコミュニケーションと絆を深める良い機会となったものと考えており、深い絆をもった親子関係の促進は、家庭の教育力の向上につながるものと考えている。</p> <p>今後も家族のコミュニケーションの促進を図り、連帯感を強めるような取組を展開していきたいと考えている。</p> <p>また、「早寝 早起き 朝ごはん運動」の推進にあたっては、各種団体や学校・地域との一体的連携による運動を進めていく。</p>
----	---

2 地域教育力の向上にむけたコミュニティ活動の活性化

主 な 取 組	(1) 公民館管理運営事業 (147,032 千円)
	①市内の七塚・宇ノ気地区をはじめ複数区の地域を対象とする公民館活動を推進するため、運営費補助金を交付した。
	・地域づくり推進事業補助金 (16 件)
	②各中学校区単位で、社会教育的あるいは生涯学習的事業を展開し、地域の連帯の強化や地域力の向上を図った。
	【高松地域】
	・子ども太鼓教室 (小学生対象) 12回
	・e-ネット安心・安全講座 (一般対象) 1回
	・租税講座 (一般対象) 1回
	・お達者くらぶ (高齢者対象) 1回
	・布ぞうり講座 (一般対象) 2回
	・オカリナ講座 (一般対象) 3回
	【七塚地域】
	・七塚地区市民交流大会「グラウンド・ゴルフ大会」開催 1回
	・夏休みお楽しみ教室 (小学生対象) 1回
	・ふれあい大学 (高齢者対象) 2回
【宇ノ気地域】	
・宇ノ気中学校区市民交流(ビーチボールバレー)大会開催 1回	
・子ども煎茶教室 (小学生対象) 11回	
・夏休み教室 (小学生対象・親子対象) 3回	
・いきいき講座 (一般対象) 3回	
③地域の公民館の良好な環境を維持することで、地域コミュニティ形成の場としての機能を確保した。	
(主な内容)	
・地区公民館の修繕	
木津・松浜・浜北公民館 : 耐震補強・大規模改修	
気屋・遠塚・秋浜公民館 : 大規模改修	
白尾公民館 : 駐車場改修	
大崎・金津公民館 : 空調設備改修	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(2)地域ぐるみの学校支援推進事業 (339 千円)</p> <p>①地域全体で学校教育を支援し、地域ぐるみで子どもの教育を推進し、地域の教育力向上などを図る取組として、石川県の補助事業を受け、学校支援活動についての組織・体制を整備し、学校支援としてのボランティア活動を展開した。</p> <p>(事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・かほく市全体の方針・取組を協議する「かほく市地域教育力活性化協議会」の開催。 ・かほく市地域教育力活性化本部に地域コーディネーターを配置し、これまでの学校支援ボランティアの人材把握、整理を行うとともに、学校からの支援要望に応じて、学校支援ボランティア活動を実施。 <p>(3)各種団体補助負担金 (6,974 千円)</p> <p>①市内11の団体組織に社会教育的活動を支援するため補助金を交付した。</p> <p>(主な交付団体)</p> <p>女性協議会、各種女性団体連絡協議会、子ども会連絡協議会、文化協会、PTA連合会、国際交流協会</p>
---	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>地区公民館は、各地域の自治公民館として地域が主体となって、地域づくり、青少年の健全育成など地域住民を対象とした活動を行った。また、老朽化した施設が多く、限られた予算の中、耐震補強・大規模修繕工事、施設・設備の修繕を行い、適正な維持管理に努めた。今後も各施設の老朽化に伴う修繕が予想され、区・町会の自治会と協議・検討が必要である。</p> <p>女性会をはじめとして、地区における社会教育団体組織の縮小や活動低下の傾向が表面化してきた。各種組織の再生・強化に向けた行政施策的取組が必要となっている。</p> <p>学校教育を支援するため、学校が必要とする人材について地域の方々をボランティアとして派遣することができた。本事業の学校支援ボランティア人材の存在が、コーディネーターの活動、広報誌やボランティアだよりの配付、ホームページ掲載などの啓発活動によって市民の間で少しずつではあるが、注目され、関心を持たれるようになってきた。今後も市民に対し取組や活動を周知し、各種団体等の参加を得て、地域住民の連帯と融和、教育力の向上につなげていく。</p> <p>また、地域の大人と子どもの交流を図る地域支援型事業である地域ぐるみの学校支援推進事業を引き続き推進し、大人の子どもたちへの関心を深め、地域や家庭の教育力の向上を図る。</p>
---	--

3 豊かな心を育むための青少年教育・読書活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 成人式・立志式開催費 (954 千円)</p> <p>①成人式</p> <p>成人の日を記念して新成人者が社会の一員となったことを自覚し、人として有意義な人生を歩んでいく決意を持って実社会へ門出ができるように祝い励ますことを目的に成人式を開催した。</p> <p>期 日：平成24年1月8日(日)</p> <p>場 所：河北台中学校講堂</p> <p>対象者：420名(うち参加者 347名)</p> <p>②立志式</p> <p>自分の将来に夢や希望を抱き、志を立て、目的意識をもった生き方を考える機会として、立志式及び記念講演会を開催した。</p> <p>期 日：平成24年2月1日(水)</p> <p>場 所：河北台中学校講堂</p> <p>対象者：378名(市内3中学校の2年生)</p> <p>内 容：各学校生徒代表による意見発表</p> <p>講演会：講師 (株)富士通ITプロダクツ 代表取締役社長 菅野 敏彦 氏 演題「ものづくりとスーパーコンピュータ」</p> <p>(2) 少年愛護センター事業 (1,795 千円)</p> <p>①少年愛護センター運営委員会を開催し、少年愛護員が街頭補導活動や有害環境浄化活動などを行い、青少年健全育成に努めた。</p> <p>(主な事業)</p> <p>巡回補導</p> <p>少年愛護指導員(月～金 15:00～17:00)</p> <p>少年愛護員 (年間16回×3箇所 19:30～21:00)</p> <p>運営委員会の開催</p> <p>愛護センター会議の開催</p> <p>少年愛護センター会報紙「ふれ愛」作成 ・少年愛護看板作成</p> <p>(3) 市民憲章推進本部事業(生涯学習推進事業の一部)</p> <p>①「交通安全・あいさつ運動」を展開した。</p>
------------------	--

(4) 図書館管理運営事業 (26,564 千円)

① 毎月の広報紙、ケーブルテレビ・ホームページなどでおすすめ本や図書館新刊受入れ情報を発信し、広く市民に知らせることにより読書を通しての生涯学習の推進を図った。

・ 個人登録延べ利用者数 34,292 人

・ 個人貸出冊数 158,385 冊

七塚図書館 : 平成23年5月末で閉館

宇ノ気図書館 : 平成24年1月22日で閉館

高松図書館 : 平成24年2月末で閉館

(図書資料など購入数)

・ 図書購入 5,533 冊

・ 視聴覚資料購入 92 点

(主な事業)

・ 手作り絵本教室の開催 (2回シリーズ)

・ 図書館まつりの開催 (生涯学習フェスティバルと共催)

・ 各種お話し会 47回

・ ブックスタート 21回

② かほく市立中央図書館開館に向けた準備

平成24年4月1日のかほく市立中央図書館開館に向けた準備作業を実施した。

・ 図書の整理

緊急雇用創出事業を活用し、これまでの3館所蔵の図書の整理を実施。

・ 市民参加の図書館運営を目指して

図書館講座 (ボランティア養成講座) (6回)

図書館友の会設立を目指した取組

・ 市民読書の日制定に向けた取組

ポスター原画の募集

・ かほく市図書館運営準備委員会の開催 (6回) ・ 先進地視察 (2回)

(5) 図書館整備事業 (460,192 千円)

① 滞在型の図書館を目指し、更なる機能の充実やサービスの向上、時代とニーズにあった図書館運営ができるよう、一般図書コーナーと児童図書コーナーを分離し、前面の増築部分を吹き抜け空間とし、ゆとりのある明るい開放的な閲覧スペースを確保した整備を実施。

建築面積 2,084.42 m² (増築 630.03 m²)

延床面積 3,531.53 m² (増築 782.10 m²)

<p>評価</p>	<p>成人式・立志式は、次代のかほく市を担う青少年を祝福し、自覚を持ってもらう大切な事業であり、この式への参加を通じてかほく市に愛着を持ち、市や地域コミュニティづくりの核になることを願って式を開催している。</p> <p>成人式については、石川県立看護大学の県外出身（住民登録はかほく市）の学生が出身地の成人式に出席することもあり、高松地区では対象者の 75.0%の参加率となっているが、市内全体の参加率は 83.0%であり、ここ数年では高い出席率となった。</p> <p>少年愛護センター事業では、青少年の非行が全国的に増加傾向にある中、かほく市では減少となっている。このことは、少年愛護指導員、少年愛護員などの地道な取組の成果であると考えている。今後も巡回コースの追加、巡回補導回数の増、夏場・冬場の巡回補導時間の検討など、警察との連携を取りながら、青少年非行の防止と健全育成に取り組んでいく。</p> <p>豊かな人間性を培う心の教育を推進するため、「交通安全・あいさつ運動」を実施した。</p> <p>青少年を取り巻く環境は依然として憂慮すべきものがあり、引き続き多くの市民が参加できる取組を通じて市民意識の高揚を図ることが必要である。</p> <p>平成 23 年度は、かほく市立中央図書館の整備に伴い、開館に向けての準備を行った。</p> <p>一般図書コーナーと児童図書コーナーとの分離のほか、学習室の設置、飲食可能な交流ラウンジの設置、ボランティアルーム、学校図書館支援室の設置など、これからの図書館運営に必要なセンター的機能を備えた施設整備を行った。</p> <p>これに合わせ、毎月 23 日を市民読書の日として制定し、市民の読書活動の推進を図るほか、開館時間の延長、祝日開館を行うこととした。</p> <p>また、市民参加の図書館運営を目指して、かほく市図書館運営準備委員会を立ち上げ、より広く市民の意見を図書館運営に取り入れるようにし、この図書館運営準備委員会を母体として、図書館友の会の設立準備が進められた。</p> <p>今後とも、この中央図書館を拠点として、多様化する市民ニーズに対応できるような仕組みの中で、読書活動の推進や読書を通じた教育・学習環境の充実を図るとともに、サービスの向上を図りつつ、より多くの市民の皆様にご利用いただける図書館となるよう努めていく。</p>
-----------	--

4 男女共同参画社会の実現に向けた啓発活動の推進

主 な 取 組	<p>(1)男女共同参画社会推進事業（154 千円）</p> <p>①市民向けの啓発活動を行うことにより男女共同参画社会に対する意識を形成し、理解を促進した。</p> <p>(事業内容)</p> <p>写真家「中 乃波木」氏による家族写真講座開催</p> <p>【石川中央広域圏協議会連携事業】</p> <p>期 日：平成23年10月8日（土）</p> <p>タイトル：「ママはカメラマン！」</p> <p>会 場：石川県西田幾多郎記念哲学館</p> <p>男女共同参画啓発映画会の開催（人権擁護委員会共催）</p> <p>期 日：平成23年10月23日（日）</p> <p>タイトル：「あぜみちジャンピン」</p> <p>内 容：耳が聞こえないというハンディキャップを持つ女子中学生優紀がダンスチームの一員として成長していく物語。仲間、家族との人間関係を描く。</p> <p>夫婦の料理教室の開催</p> <p>期 日：平成24年3月18日（日）</p> <p>内 容：夫婦そろって、少しグレードアップしたお祝い料理に挑戦</p> <p>②各種講座などを開催することにより学びの機会を提供し、市内女性の教養力向上を図った。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ コーヒーの美味しい入れ方講座 1 回 ・ バランスボール講座 2 回 ・ ネイルアート講座 4 回
------------------	--

評 価	<p>男女共同参画社会基本法第9条及び第16条の規定により義務付けられている男女共同参画社会の形成の促進に関し男女共同参画社会の実現を目指すため、教育委員会として市民の意識啓発に向けた講座、講演会、広報活動に取り組んでいる。今後も参加しやすい環境づくりを行い、市民の意識啓発の向上に取り組んでいく。</p> <p>女性センター運営事業として、女性の地位向上と積極的な社会参加の促進に資することを目的に、女性を対象とした講座を実施した。今後もニーズに応える講座を開催していく。</p>
--------	---

5 国際社会に対応するための国際理解教育の推進

<p>主 な 取 組</p>	<p>(1)国際交流事業 (9,328 千円)</p> <p>①ドイツのメスキルヒ市との相互訪問などにより異文化に対する理解を深めるほか、国際交流員を配置し、市国際交流協会との連携による国際理解教室及び語学教室などを開催することにより市民の国際感覚の育成を推進した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市メスキルヒ市制750周年記念式典参加 <p>期 間：平成23年7月13日(水)～7月18日(月)</p> <p>式 典：平成23年7月15日(金)</p> <p>参加者：油野 和一郎 (かほく市長)</p> <p style="padding-left: 2em;">杉本 成一 (かほく市議会 前議長)</p> <p style="padding-left: 2em;">宇野 順一 (かほく市議会 総務常任委員長)</p> <p style="padding-left: 2em;">遠田 敏博 (かほく市教育委員会 教育長)</p> <p style="padding-left: 2em;">北川 直紀 (かほく市教育委員会 生涯学習課長補佐)</p> <p style="padding-left: 2em;">シュナイダー カティア (かほく市国際交流員)</p> <p>式典翌日のメスキルヒ市祭において、東日本大震災のための義援金の目録を受領。後日、約13,500ユーロが送金(8月16日)された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 姉妹都市交流事業(青少年受入れ) <p style="padding-left: 2em;">訪問団員：17人(中学生15人、引率者2人)</p> <p style="padding-left: 2em;">受入期間：平成23年10月24日(月)～11月3日(木)</p> <p style="padding-left: 2em;">事業経費：1,650千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際交流員の配置 <p style="padding-left: 2em;">CIR(国際交流員)1人を配置し、園児から成人を対象に異文化理解教育を推進した。</p>
----------------------------	---

<p>評 価</p>	<p>当該事業は、平成16年7月に姉妹都市提携の再調印を行った際、隔年で青少年の相互訪問を行うと位置づけされており、平成23年度は、青少年の受入を実施した。メスキルヒ市の同年代の子ども達との交流を通じて両市の相互理解と交流を促進し、併せてかほく市の中学生の国際的視野を広げ、国際協力の精神を養い、これからのかほく市を担うにふさわしい青少年の育成に資することができた。</p> <p>また、メスキルヒ市制750周年記念式典への公式訪問団の参加や、メスキルヒ市から当市へ東日本大震災義援金を受けるなど、これまで継続して行ってきた姉妹都市交流の意義を感じる年となった。今後も、姉妹都市交流事業を企画・実施するにあたり、今まで以上に市民や市民団体の積極的な参加を得ることを目指し、市民の国際理解を深める方策について、かほく市国際交流協会と連携しながら模索していく。</p>
----------------	--

6 生きがいくりに向けた文化活動の推進

主な 取組	<p>(1)生涯学習推進事業 (3,489千円)</p> <p>市民の学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催するとともに、職員出前講座のほか市民向けの講座等を実施した。</p> <p>また、かほく市内の文化活動団体紹介チラシを全戸配付した。</p> <p>①第8回生涯学習フェスティバル</p> <p>期 間：平成23年10月29日(土)～10月30日(日)</p> <p>会 場：河北台中学校講堂、河北台健民体育館など</p> <p>内 容：芸能発表会、各種展示会、フリーマーケット、図書館まつり</p> <p>記念講演：講師 島田洋七氏</p> <p>演 題：がばいばあちゃんが教えてくれた‘絆’</p> <p>※併せて市健康まつり(健康福祉課主管)を開催した。</p> <p>②クリスマスコンサート</p> <p>期 日：平成23年12月13日(火)</p> <p>会 場：石川県西田幾多郎記念哲学館 哲学ホール</p> <p>内 容：アンサンブル金沢のメンバーによる弦楽四重奏</p> <p>入場者数：大人 154人、中学生以下 15人 (計 169人)</p> <p>③出前講座(講師は市職員)</p> <p>開催時期：平成23年4月～平成24年3月</p> <p>回 数：10講座22回 延べ参加者数：565人(平均25人)</p> <p>会 場：市内の公共施設、地区集会場等</p> <p>④天体観望会</p> <p>開催時期：平成23年4月～5月、毎月第2・第4土曜日</p> <p>※七塚生涯学習センター改修工事のため2ヶ月間のみ(4回)</p> <p>参加人数：各回10人程度</p> <p>⑤囲碁将棋大会</p> <p>期 日：平成23年12月11日(日)</p> <p>会 場：宇ノ気老人福祉センター</p> <p>参加人数：囲碁 31人、将棋 25人(計 56人)</p>
----------	--

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">主な取組</p>	<p>(2)女性センター管理運営事業 (493 千円)</p> <p>①施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p> <p>(3)生涯学習センター管理運営事業 (3,053 千円)</p> <p>①かほく市立中央図書館整備に伴い、開館は5月末日まで。整備に伴い各部屋の空調設備、外壁改修等を実施し、市民に安心・快適に利用できる生涯学習活動の場を整備した。(整備費は図書館整備に含む。)</p> <p>(4)勤労青少年ホーム維持管理事業 (71,381 千円)</p> <p>①かほく市立中央図書館の整備により、廃止となる宇ノ気図書館及び宇ノ気勤労青少年ホームを合わせて、宇ノ気生涯学習センターとし、エレベータの設置工事、外壁改修工事を実施し、施設の適切な維持管理を行うことにより市民に安心して安全に利用できる生涯学習活動の場を提供した。</p>
---	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">評価</p>	<p>様々な学習意欲を持つ市民に対し文化活動団体に関する情報を提供した。また、学習活動の成果の発表の場としての生涯学習フェスティバルを開催したほか、市民向け講座や職員出前講座を実施し、市民の学習意欲の向上を図った。</p> <p>今回の生涯学習フェスティバルでは、女性会によるスライドファッションショー、横山区の獅子舞及びキリコを披露した。今後も新たな内容を取り入れながら、展示会場のレイアウト、展示内容についても改善を加え、より多くの市民に来場していただけるよう検討していきたい。</p> <p>市民に対して良好な生涯学習の場を提供するため、七塚生涯学習センター・七塚勤労青少年ホームを中央図書館整備に合わせて整備し、七塚生涯学習センターとして再編した。</p> <p>また宇ノ気勤労青少年ホーム・宇ノ気図書館についても、エレベータの設置工事など実施し、宇ノ気生涯学習センターとして再編した。</p> <p>今後も、適切な維持管理を行い、引き続き、市民の学習意欲の向上と学習成果を地域で活用できるよう支援を進める。</p>
---	--

7 地域文化を育み、郷土愛を培う活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 西田記念哲学館管理運営事業 (42,262 千円) (繰越分含む)</p> <p>① 石川県西田幾多郎記念哲学館、旧西田記念館及び西田幾多郎書斎「骨清窟」の適切な維持管理を行い、主に石川県西田幾多郎記念哲学館を拠点として、哲学者西田幾多郎の遺徳を顕彰し、西田幾多郎に関する資料の展示並びに哲学に関する企画展、講演会及び講座を開催することにより哲学を通じての生涯学習の機会を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学館入館者数 21,015人 (うち展示室観覧者数6,146人) ・ その他哲学館外事業 (出前講座その他) 1,303人 <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 哲学館運営委員会の開催 2回 ・ 西田幾多郎哲学講座 全12回+野外学習1回 ・ 寸心読書会 全13回 ・ 入門講座「ゆっくり読む『善の研究』」 全6回 <p>◆ 『善の研究』出版百周年記念事業／国際哲学交流シンポジウム 3日間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特別企画「科学技術について考える」 講演会 全4回 映画上映会 6回 (2種類の映画を1日に各3回上映) ・ 禅文化体験会 1回 ・ 映画「ガイアシンフォニー 第六番」上映会 4回 (1日に4回上映) ・ つたにひろこ展 - 無音の響き - ・ “善の研究” 子ども書展 <p>◆ 鈴木大拙館との交流協定締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内小中学校「共通道徳」実施 小学校6校(5年生)、中学校3校(2年生) ・ 哲学カフェ 全23回 ・ 機関紙「哲学館ニュース」第14号、第15号発刊 ・ 雑誌『点から線へ』第59号、第60号発刊 ・ 哲学館ギャラリー (ホワイエ・展望ラウンジ) 貸出 ホワイエ67日、展望ラウンジ36日使用 (主催・貸館含) ・ 哲学館外部改修工事 (平成22年度～平成23年度にわたって実施) (繰越分)
------------------	---

主 な 取 組	<p>(2)総合交流促進施設運営事業 (16,093 千円)</p> <p>①施設の適切な維持管理を行い、市民などに対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えてキャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供することにより人々の交流活動を促進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館展示室観覧者数 9, 231人 (うち市民ギャラリー入場者数6, 632人) ・キャンプ場利用者数 4, 052人 ・バーベキュー場利用者数 5, 108人 ・「市民ギャラリーうみっこ」における展示会の開催 30回 <p>(主な展示会)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市絵画愛好会グループ展 ・パステルアート展 ・市書道協会展 ・写真愛好家50人展 ・押花手作り作品展 ・バラのコサージュ展 ・陶芸作品展 ・早春の山野草展 ・MOA美術館児童作品展 ・私の作品展 <p>(3)文化財保護事業 (2,829 千円)</p> <p>①文化財の保存・公開等を通じて市民に対し文化財保護を周知し、地域の歴史や文化に対する理解を深め、郷土意識の高揚を図るため、市指定文化財の保護・管理を実施した。</p> <p>(主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 2回 ・親子歴史体験教室の開催(再掲) 1回 ・小学生対象土器作り教室の開催 5校 ・市指定文化財(天然記念物)の樹木診断 1回 ・上山田貝塚、大海西山弥生の里等の管理(芝生管理、樹木管理) ・文化財関係看板の修繕 ・かほく市指定文化財シイノキの保護 3回
------------------	--

評 価	<p>西田幾多郎記念哲学館では、入門者・初心者向けの「入門講座」、中級者・上級者向けの「西田幾多郎哲学講座」、じっくりと哲学書を読み進める「寸心読書会」を開催している。それぞれの講座でターゲットとなる利用者層を変えることを心がけて企画している。また、講座終了後に喫茶室で講師を囲んで哲学について討議する「哲学カフェ」を行い、講座参加者と講座講師が気軽に討論できる場として好評の声をいただいている。</p>
--------	--

<p>評価</p>	<p>また、「特別企画」は、哲学に興味がある人はもちろん、哲学に興味がない人たちをも哲学館に呼び込むことを目的として実施し、平成23年度は科学技術をテーマとした。コンピューター開発・哲学・宇宙物理学といった幅広い分野から講師を招き、多様な講演会を開催した。</p> <p>平成21年度から開始した「市内小中学校『共通道徳』」事業を平成23年度も継続して実施した。市内小学校6校（5年生）、中学校3校（2年生）が哲学館を訪問し、西田幾多郎に関する講義を受け館内見学を行った。この事業により市内の特定の学年の全児童が哲学館を訪問することになり、地域の偉人に対する意識を高めることにつながった。</p> <p>平成23年度は、西田幾多郎の著書『善の研究』出版百周年の記念の年であり、関連事業を開催した。国際哲学交流シンポジウムでは、国内外の多くの西田哲学研究者が哲学館に集い、『善の研究』を中心に西田哲学の研究発表・講演会・シンポジウムを行った。“善の研究”子ども書展は、小中学生が西田哲学に関する言葉を書道で書いた作品を展示したものであり、小中学生に西田幾多郎に親しみを持ってもらうことができた。</p> <p>金沢市の鈴木大拙館と交流協定の締結をした。交流協定事業として、平成23年度は試験的に、片方の博物館の入場券の半券でもう片方の博物館へ無料で入館できるという入場優待事業を行い、好評を博した。今後は、入場優待事業に加え、2館が協力しての広報活動や、共同で催しの開催、それぞれの館で行われる講座への講師の派遣といった交流事業を行っていきたい。</p> <p>平成22年度からの繰越事業であった哲学館外部改修工事が完了した。これにより、哲学館で頻出していた雨漏りが治まり、来館者の方々に快適に館内を見学していただけるようになった。</p> <p>総合交流促進施設（うみっこらんど七塚）では、市民などの施設利用者に対し漁具の見学及び市民ギャラリーの鑑賞に加えて、キャンプ場及びバーベキュー場などのレクリエーション場を提供し、人々の交流活動を促進できた。今後も多くの方に利用していただけるよう、展示会などを活用し、PR活動の強化を図りたい。</p> <p>歴史や文化を反映した文化財の管理や活用に取り組むことができた。児童生徒の学習教材としての史跡活用を勧め、地域の歴史に触れる憩いの場としての機能を保ち、引き続き市民が地域の歴史や文化に対して愛着や誇りが持てるよう文化財の管理・公開・活用に努めていく。</p> <p>開発行為などに伴う埋蔵文化財の取扱いについては、今後とも引き続き関係機関との連絡調整を密にしながら円滑な事前協議に努め、必要に応じて適切な記録保存を行っていく。</p>
-----------	--

施策3 市民一人一人が自主的にスポーツに取組、健康で豊かな生活ができるよう生涯スポーツの実現を目指して

【生涯学習課】

1 生涯スポーツ活動の推進

主 な 取 組	<p>(1) 体育指導委員の各種研修会の参加事業 (293 千円)</p> <p>市民に対し、スポーツの実技指導助言を図るとともに、各種研修会に参加し体育指導委員としての資質向上に努めた。</p> <p>①全国体育指導委員研究協議会に参加した。(東京都) 5人参加 期 日 平成23年11月10日(木)・11日(金)</p> <p>②北陸地区指導委員研修会に参加した。(坂井市) 4人参加 期 日 平成23年7月9日(土)・10日(日)</p> <p>③石川県体育指導委員研修会に参加した。(中能登町) 10人参加 期 日 平成23年12月4日(日)</p> <p>④河北郡市体育指導委員実技研修会に参加した。(津幡町) 期 日 平成23年7月23日(土) 6人参加 平成24年1月28日(土) 11人参加</p> <p>(2) ふれあいウォークの開催 (346 千円)</p> <p>石川県ウォーク実行委員会と連携し、「元気カップ石川まるごとウォークかほく市大会」として開催した。</p> <p>期 日 平成23年9月18日(日)</p> <p>コ ー ス 宇ノ気中学校を発着 海側(約10km)と山側(約7km)の2コース</p> <p>参加人数 300人</p> <p>(3) スポレクサーキット大会の開催 (187 千円)</p> <p>開催回数 年3回</p> <p>第1戦: カローリング</p> <p>第2戦: ソフトバレー</p> <p>第3戦: 室内ペタンク</p> <p>チーム数 一般男子 14チーム 一般女子 8チーム 少年少女 8チーム</p>
------------------	---

主 な 取 組	<p>(4) 生涯スポーツ振興事業の開催 (1,556 千円)</p> <p>高齢者の体力・健康増進を図った。</p> <p>①週1回の定期活動</p> <p>②第17回能登地区健康クラブ交歓大会に参加した。(内灘町) 222人参加 期 日 平成23年5月12日(木)</p> <p>③第44回石川県健康クラブ普及育成研修会に参加した。(金沢市) 20人参加 期 日 平成23年6月22日(水)</p> <p>④第44回石川県健康クラブ交歓大会に参加した。(金沢市) 206人参加 期 日 平成23年10月19日(水)</p> <p>(5) 市民100日健康・体力づくり運動 (1,143 千円)</p> <p>日常生活の中に、自分に合った軽運動を目安として、30分以上週2回以上継続する習慣を身につけ、健康維持・増進、体力づくりを図った。</p> <p>100日達成者 544人 200日達成者 373人 300日達成者 243人 ※平成22年度からの累計</p> <p>(6) 総合型地域スポーツクラブ(クラブパル) 活動自立支援助成 (4,000 千円) 〃 クラブマネジャー設置支援助成 (3,139 千円) ※スポーツ振興くじ助成及び寄附金</p> <p>かほく市におけるスポーツの普及・振興のために様々な教室運営や事業を行った。 キッズコース5、ジュニアコース9、アスリートコース4、エンジョイコース14、スタジオ教室15、ほかに文化教室、セミナーを開催した。</p>
------------------	--

評 価	<p>体育指導委員は、各種研修会への参加により資質・技能の向上に努めた。また、レクリエーションスポーツを通じた市民のスポーツ参加へのきっかけづくりのほか、スポーツ団体その他の団体の行事などの運営に積極的に参画し、市スポーツ振興に寄与した。</p> <p>高齢者健康クラブでは、毎週木曜日に七塚(75人)、金曜日に高松(70人)、宇ノ気(80人)健康クラブが定期活動(練習)、交歓大会などを通して交流を図った。また、自己の体力度チェックとしてメディカルチェックに参加し、一人一人の体力・健康保持に努めた。</p> <p>市民の健康づくりを推進するため、市民100日健康・体力づくり運動を展開し、運動に馴染まない方のきっかけづくり及び自主的に日常生活内に運動を取入れてもらうきっかけづくりに努めた。</p> <p>総合型地域スポーツクラブ(クラブパル)の活動は、河北台中学校区におけるスポーツ・文化活動の振興を通して子どもたちの健全育成及び地域コミュニティの拡大を図っており、生涯スポーツ、健康づくり及び生涯学習の発展に寄与した。</p>
--------	---

2 児童生徒の体力・運動能力の向上

主な取組	<p>(1) スポーツ少年団育成事業 (1,881 千円)</p> <p>青少年の体力向上及び心身の健全な育成を図った。</p> <p>団員数 34団体 785人 (うち中学生50人)</p> <p>指導者数 189人</p> <p>主な事業 市スポーツ少年団開講式 (4月)</p> <p>スポーツ指導者講習会 (7月、11月)</p> <p>市スポーツ少年団フェスティバル及び閉講式 (2月)</p>
------	--

評価	<p>市内児童の約33.4%がスポーツ少年団に加入しており、各団の定期活動を通じて仲間づくり、体力・技術力の向上、並びに青少年の健全育成が図られた。</p> <p>スポーツ少年団活動を通してジュニア期における体力・技術力の向上を図るためには、指導者として専門的な知識・技能や高いコーチング能力が求められる。そのために、スポーツ指導者講習会などを実施し、安全な活動に心がけた。</p>
----	---

3 競技スポーツの充実・強化

主な取組	<p>(1) 平成23年度全国大会出場選手等激励会及び報告会の開催 (1,693 千円)</p> <p>開催回数 年11回</p> <p>平成23年 7月25日 (月)、 9月 5日 (月)、 9月13日 (火)、 9月21日 (水)、 9月22日 (木)、10月 6日 (木)、 10月11日 (火)、10月21日 (金)、10月24日 (月)、 11月24日 (木)、平成24年3月14日 (水)</p> <p>場 所： かほく市七塚健康福祉センター・七塚庁舎及び市役所</p> <p>一 般： 監督、コーチ、選手 99人</p> <p>高校生： 選手 63人</p> <p>中学生： 選手 27人</p> <p>小学生： 選手 31人</p> <p>幼 児： 選手 1人</p>
------	--

(2) 公認審判員（指導員）資格奨励金の実施（167千円）

市内に居住する社会体育を実践する者又は実践しようとする者に対し各種資格取得を奨励することにより社会体育の実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与することを目的とする。

公認審判員等取得者数

トランポリン	37人
インディアカ	4人
オリエンテーリング	1人
陸上競技	18人
ゲートボール	5人
ソフトボール	9人

(3) 競技スポーツの各種大会の開催

市民の体力向上及び日頃の練習の成果を発揮する場として、また、スポーツに親しむきっかけづくりの場として各種大会を実施した。

①石川県民体育大会へ参加（体育協会）

中心会期 平成23年 2月19日（土）・20日（日）：〔冬季〕
8月 6日（土）・ 7日（日）：〔夏季〕

主会場 冬季（白山市）、夏季（白山市主会場）

成績 男子：一般の部＝第7位、壮年の部＝第8位、総合の部＝第8位
女子：一般の部＝第8位、壮年の部＝第6位、総合の部＝第7位

- ・石川県民体育大会に向けての市総合体育大会を開催するとともに、各種競技大会へ参加した。
- ・市体育協会加盟団体の強化発展と相互の連携を推進した。

②市長杯争奪石川県ラージボール卓球大会の開催（154千円）

期 日 平成23年8月21日（日）

会 場 河北台健民体育館

チーム数 男子の部23チーム、女子の部13チーム

- ・20代から70代と幅広い年齢層で加賀、能登の地域を越えてラージボール卓球競技を実施した。

主な取組

主な取組	<p>③サンドヒルグラウンド・ゴルフ大会の開催（935 千円）</p> <p>期 日 平成23年8月28日（日）</p> <p>場 所 高松グラウンド・ゴルフ場</p> <p>チーム数 206チーム（1,030人） ※団体途中棄権2チーム</p> <p>④学童招待野球大会の開催（296 千円）</p> <p>期 日 平成23年10月22日（土）・23日（日）</p> <p>会 場 高松野球場、宇ノ気野球場、金津ソフトボール場、 七塚中央公園多目的広場</p> <p>チーム数 市内4チーム、市外12チーム</p> <p>・市外からの学童野球チームを招待し、技術の向上と交流を推進した。</p> <p>⑤かほく市制施行記念継走大会の開催（505 千円）</p> <p>期 日 平成24年3月4日（日）</p> <p>コ ー ス 宇ノ気小学校～かほく市七塚庁舎 総延長 13.5Km 4区間</p> <p>チーム数 一般男子40チーム 一般女子2チーム 中学男子25チーム 中学女子22チーム 市外一般男子6チーム</p> <p>・市制施行を記念し、中学生から大人までが市内コースを4人で継走した。</p>
------	---

評価	<p>全国大会出場者に対して、より一層の活躍を願い激励会を開催したことが大会での上位入賞の活躍の大きな原動力となった。</p> <p>社会体育実践者としての資質を向上させ、社会体育の振興に寄与した。</p> <p>各種団体との兼ね合いの関係で、種目によっては定期練習及び県体強化練習会場の十分な確保が難しくなっているが、連絡調整をしながら現状に至っている。</p> <p>石川県民体育大会の正式競技41種目中34種目にエントリーしており、上位入賞のためにも参加種目を増やすよう努めている。</p> <p>地域間の融和と活力あるまちづくり及び広く市民全体の体力づくりに寄与するとともに、青少年及び健康的な市民の育成を推進する一助となっている。</p>
----	--

4 スポーツ施設の整備・充実

主な取組	<p>(1) 体育施設整備への主な取組</p> <p>かほく市体育施設整備計画（H23～H25）に基づき、うのけ総合公園陸上競技場の全面改修工事及び河北台健民体育館の耐震補強・大規模改修工事を行い、安全で安心なスポーツ施設の整備を進めた。</p> <p>①うのけ総合公園陸上競技場改修工事（174,485千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・建設後20年が経過し、経年劣化の激しいトラック部分の舗装をゴム系全天候型からウレタン系全天候の舗装に改修した。またインフィールドの天然芝舗装についても経年使用により不陸不良のため、全面の芝改修を行った。・当該施設での日本陸上競技連盟の第3種公認陸上競技場の継続公認に必要な備品の購入及び円盤投げ囲いの修繕工事を行った。 <p>②河北台健民体育館耐震補強・大規模改修工事（161,427千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・建築物の耐震改修の促進に関する法律による構造耐震指標のIs値が低く、耐震性能が満たされていないため、耐震補強工事を実施した。 (Is値 補強前0.07→補強後0.80 ※目標値0.75以上) <p>また、耐震補強工事に併せ、トイレ設備や外壁改修などの大規模改修工事も行った。</p> <p>③かほく市都市公園体育施設改修設計業務委託（8,925千円）</p> <ul style="list-style-type: none">・平成24年度以降の体育施設整備計画の実施に向けて、高松野球場、金津ソフトボール場等の改修工事の実設計を行った。 <p>(2) 体育施設維持管理への主な取組</p> <p>25体育施設（屋外10施設、屋内15施設）の維持管理・改修を行い、安心してスポーツに親しむ場を提供した。</p> <p>①芝生管理業務委託</p> <ul style="list-style-type: none">・うのけ総合公園（1,438千円）・高松運動公園体育施設等芝生管理業務委託（3,538千円）・高松グラウンド・ゴルフ場芝生管理業務委託（5,061千円） <p>②アクロス高松アクロス館屋根修繕（1,228千円）</p> <p>経年劣化による屋根材の修繕</p>
------	--

主 な 取 組	<p>③バスケットコートライン塗替工事（ルール改正対応）（1,974 千円） 宇ノ気体育館（2面）、河北台体育館（2面）、七塚体育センター（1面） 宇ノ気体育センター（3面）</p> <p>④七塚武道館相撲場改修工事（745 千円） 土俵築造、鉄砲丸太設置ほか</p> <p>（3）宇ノ気体育館、宇ノ気新化館管理委託業務（指定管理）（5,334 千円） 平成18年度から当施設の指定管理者として事業の運営効率化と施設の維持管理の充実に努めた。 指定管理委託施設 宇ノ気体育館、宇ノ気新化館 指定管理者 NPO法人クラブパレット</p> <p>（4）河北台健民体育館2階トレーニングセンター運營業務委託（4,704 千円） 体育館2階トレーニングセンターの機器を活用し、多彩なメニューによる市民の健康づくりの場を提供した。 運営受託者 NPO法人クラブパレット</p>
------------------	---

評 価	<p>芝管理業務をはじめ、各種工事・修繕により、市民に快適に安心して利用できる体育施設の維持管理に努めた。</p> <p>平成23年度においては、「社会資本整備総合交付金」「スポーツ振興くじ助成」の活用により、うのけ総合公園陸上競技場改修、河北台健民体育館耐震補強・大規模改修工事を実施し、平成24年度以降に実施する体育施設整備計画の実施に向けて、高松野球場、金津ソフトボール場等の改修工事に向けた実施設計に着手することができた。</p> <p>25施設中23施設を指定管理者制度にて管理しており、施設の運営・修繕等により、安全・安心な施設の維持管理を行った。また、指定管理者によるイベント、スポーツ教室、セミナーなどの展開・開催により、いつでも、どこでも、気軽にスポーツに参加できる環境づくりを進めた。</p> <p>河北台健民体育館2階トレーニングセンターの運営をNPO法人クラブパレットへ業務委託し、有酸素機器及びトレーニング機器を活用し、市民の健康増進を推進した。今後も、前年度に同じくトレーニングルーム、スタジオを一体的に活用した事業の展開を図り、市民への健康づくりに努めていく必要がある。（平成24年度は、健康福祉課と連携し、緊急雇用創出事業（健康なまちづくり協働推進事業）として当トレーニングセンターにて展開予定）</p>
--------	--

資 料

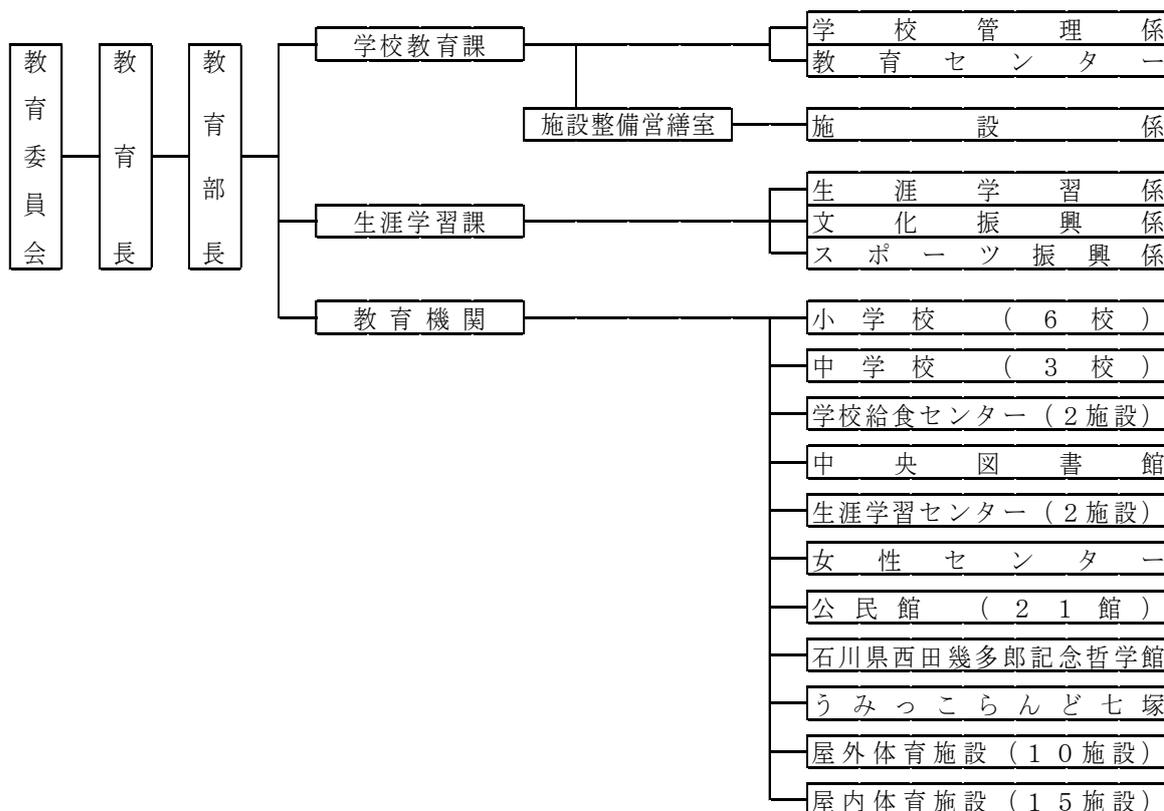
1 教育委員会委員

(平成24年5月1日現在)

職 名	氏 名	教育委員の任期
委 員 長	中田 節子	平成23年4月28日～平成27年4月27日
委員長職務代理者	松井 三枝子	平成21年4月28日～平成25年4月27日
委 員	架谷 瞬華	平成22年4月28日～平成26年4月27日
委 員	寺西 哲秀	平成24年4月28日～平成28年4月27日
教 育 長	遠田 敏博	平成24年4月28日～平成28年4月27日

2 教育委員会の組織

(平成24年4月1日現在)



3 教育機関

(1) 小学校

(平成24年5月1日現在)

名 称	開設年月日	児童数
かほく市立高松小学校	明治 6年	432人
かほく市立大海小学校	明治 8年 1月	112人
かほく市立七塚小学校	明治 6年 7月 4日	294人
かほく市立外日角小学校	明治 8年11月17日	428人
かほく市立宇ノ気小学校	明治 8年 4月10日	794人
かほく市立金津小学校	明治 6年11月	99人

(2) 中学校

(平成24年5月1日現在)

名 称	開設年月日	生徒数
かほく市立高松中学校	昭和22年 4月 1日	261人
かほく市立河北台中学校	昭和22年 4月 1日	420人
かほく市立宇ノ気中学校	昭和22年 4月 1日	467人

(3) 学校給食施設

(平成24年4月1日現在)

かほく市第1学校給食センター	かほく市第2学校給食センター
----------------	----------------

(4) 社会教育施設

(平成24年4月1日現在)

かほく市立中央図書館	かほく市七塚生涯学習センター	かほく市宇ノ気生涯学習センター
かほく市高松女性センター	石川県西田幾多郎記念哲学館	かほく市うみっころんど七塚
かほく市高松公民館	かほく市二ツ屋公民館	かほく市長柄町公民館
かほく市木津公民館	かほく市松浜公民館	かほく市遠塚公民館
かほく市浜北公民館	かほく市秋浜公民館	かほく市外日角公民館
かほく市白尾公民館	かほく市森公民館	かほく市指江公民館
かほく市至誠が丘公民館	かほく市気屋公民館	かほく市宇気公民館
かほく市七窪公民館	かほく市宇野気公民館	かほく市内日角公民館
かほく市大崎公民館	かほく市金津公民館	かほく市上田名公民館

(5) 社会体育施設

(平成24年4月1日現在)

かほく市高松体育センター	かほく市七塚体育センター	かほく市宇ノ気体育センター
かほく市河北台健民体育館	かほく市宇ノ気南部体育館	かほく市宇ノ気新化館
かほく市金津体育館	かほく市七窪体育館	かほく市宇ノ気スポーツセンター
かほく市河北台体育館	かほく市宇ノ気体育館	かほく市高松陸上競技場
かほく市うのけ総合公園陸上競技場	かほく市高松野球場	かほく市宇ノ気野球場
かほく市金津ソフトボール場	かほく市高松テニスコート	かほく市七塚テニスコート
かほく市宇ノ気テニスコート	かほく市うのけ総合公園テニスコート	かほく市高松グラウンド・ゴルフ場
かほく市七塚武道館	かほく市高松弓道場	かほく市宇ノ気弓道場
かほく市アクロス高松		

4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

平成23年度

かほく市教育委員会点検及び評価報告書

発行年月：平成24年9月

発行者：かほく市教育委員会

学校教育課 TEL 076-283-7136 / FAX 076-283-3643
E-mail : gakkou@city.kahoku.ishikawa.jp
生涯学習課 TEL 076-283-7137 / FAX 076-283-3643
E-mail : syougai@city.kahoku.ishikawa.jp

〒929-1195 石川県かほく市宇野気ニ81番地（かほく市役所内）

URL : <http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>